



令和8年度予算の編成方針について

「2026年度市政運営の基本方針」の策定・公表に伴い、これを踏まえた「令和8年度予算の編成方針」を公表します。

○編成方針・要旨

1 全文 基礎的認識

各政策・事業の効果検証と再構築を徹底し、限られた財源を最大限有効に活用することで、適正な債務管理と必要な投資を両立したしなやかな財政運営を行い、中長期的な展望に立って、様々な政策を総合的に進めていく。

2 財政見通し

少子高齢化や保育・子育て環境の向上などに伴う社会保障施策関係経費の増大などにより、財政の硬直化は大きな課題となっている。

また、小・中学校を始めとした教育施設やアクトシティ浜松等の大規模な公共建築物の整備更新、道路・橋りょう等の既存の社会資本の長寿命化や適正な維持管理、豪雨災害への対応に加え、原油価格・物価高騰による内部管理経費の増加などにより、中期財政見通しにおける試算の結果、令和7年度から令和16年度までの10年間で1,077億円の収支不足が見込まれ、非常に厳しい財政運営となることが予想される。

3 予算編成の考え方

市政運営の基本方針に基づく様々な政策を着実に進めていく。特に、産業振興、少子化対策、災害に強いまちづくり、中心市街地や中山間地域の振興などに、積極的に取り組むものとする。また、直面する新たな課題には柔軟に対応する。

あわせて、収支不足を解消し、将来に向けた規律ある財政を堅持していくため、一層の歳入確保を徹底するとともに、最少の経費で最大の効果を挙げるため、歳出の重点化、より効果の高い事業への再構築によりメリハリの効いた予算案を作成する。

4 予算編成方法

- ・ 予算編成方法を見直し、政策自由度の向上と財源確保の両立などを目的として「財源配分方式」を導入する。
- ・ 各部区局は、部区局長の権限と責任のもとでマネジメント機能を発揮し、財源を意識した予算要求を行う。